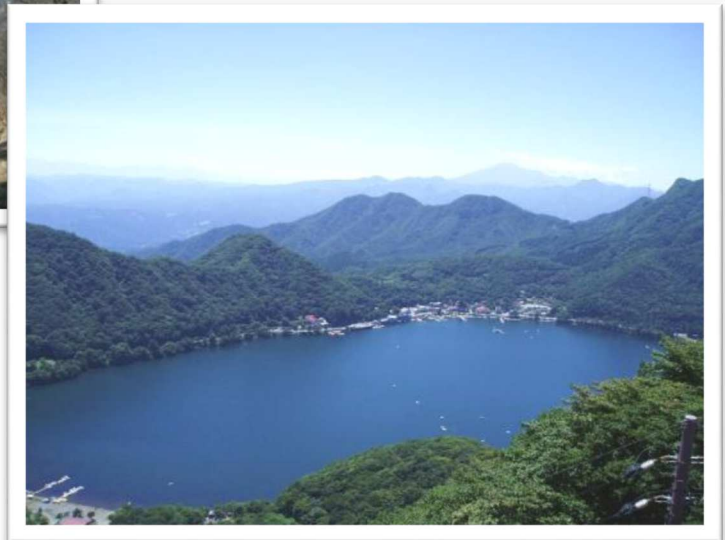


# 安全報告書（2016年）

谷川岳ロープウェイ



榛名山ロープウェイ



ごあいさつ

日頃は、谷川岳ロープウェイをご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

当社におきましては、谷川岳ロープウェイを始め、天神平スキー場リフトおよび榛名山ロープウェイの各索道事業を行っています。

日本百名山のひとつである谷川岳とそれに連なる山々の大パノラマを楽しむことができる谷川岳ロープウェイや、12月から5月上旬までのロングシーズンとパウダースノーが自慢の天神平スキー場、さらには、群馬近郊にありながら関東平野を一望できる榛名山の頂上に立つことができる榛名山ロープウェイ等、みなかみ地区および榛名地区の観光、スキー、登山などに訪れるお客様の交通手段として、索道（ロープウェイ、リフト）の安全な運転をご提供しております。

当社は、企業理念の第一に安全の確保を掲げ、運転の取扱いや維持管理などにおけるコンプライアンス（法令遵守）を徹底し、お客様に対して安全・安心を確保することに努めております。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、平成27年度の輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自らの取組みに不足する部分がないか振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものであります。

皆さまからの声を輸送の安全に役立てるため、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

谷川岳ロープウェイ株式会社

取締役社長 新井 毅

## 目 次

- 1 安全基本方針と「輸送の安全」重点目標
  - (1) 安全基本方針
  - (2) 平成 27 年度「輸送の安全」重点目標
  
- 2 事故等の発生状況とその再発防止措置
  - (1) 索道運転事故（索道人身傷害事故）
  - (2) 災害（地震や暴風雨、豪雪など）
  - (3) インシデント（事故の兆候）
  
- 3 輸送の安全確保のための取組み
  - (1) 人材教育
  - (2) 応急下降訓練
  - (3) 安全確保のための諸施策
  
- 4 当社の安全管理体制
  
- 5 ご利用の皆様へ
  
- 6 お問い合わせ先

## 1 安全基本方針と「輸送の安全」重点目標

### (1) 安全基本方針

当社の企業理念の第一は、安全を最優先とし、地域社会から信頼される企業を目指しております。社長、役員および職員（職員に準ずるものを含む）は、次の安全基本方針に則り、輸送の安全確保を図っております。

- ① 一致協力して輸送の安全確保に努めます。
- ② 輸送の安全に関する法令および関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- ④ 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをします。
- ⑤ 事故または災害が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとります。
- ⑥ 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- ⑦ 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

### (2) 平成 27 年度「輸送の安全」重点目標

お客様に安心して快適にご利用していただくために、次のとおり重点目標を定めています。

数値目標 「乗降時の事故ゼロ」  
「運転阻害事故ゼロ」  
「労働災害ゼロ」

行動目標 「指差喚呼による安全確認およびお客様への声掛けの徹底」  
「点検整備作業の確実な実施」  
「法令順守と安全管理体制の確実な実施」

## 2 事故等の発生状況とその再発防止措置

### (1) 索道運転事故（索道人身障害事故）

平成 27 年度における索道運転事故はありませんでした。引き続き、運転事故防止に努めてまいります。

### (2) 災害（地震や暴風雨、豪雪など）

7 月 20 日に谷川岳周辺で発生した局地的集中豪雨により、電源ケーブルが損傷し、谷川岳ロープウェイが運行不能となりました。その後、復旧工事を実施し、8 月 13 日に運転再開いたしました（運転休止 2 3 日間）。

また、強風や襲雷による安全確保のため、下記のとおり運行の一時見合わせを行っています。ご利用のお客様には、大変ご迷惑をおかけいたしました。

谷川岳ロープウェイ	計 7日	延べ 56.0 時間
天神峠、天神平、高倉山各リフト	計 32日	延べ 94.5 時間
榛名山ロープウェイ	計 9日	延べ 72.0 時間

### (3) インシデント（事故の兆候）

平成 27 年度における国土交通省へのインシデント報告はありませんでした。引き続き事故防止に努めます。

## 3 輸送の安全確保のための取組み

### (1) 人材教育

当社では、輸送の安全確保のため、安全に関する社内の教育や、関東鋼索交通協会主催等、社外の研修にも積極的に参加し、索道技術の向上や知識の習得に努めています。

平成 27 年度に実施または受講した主な教育は次のとおりです。

(社外教育)

索道技術管理者研修会	9月7日～8日	4名
索道技術管理員研修会	6月4日～5日	3名
索道営業研修会	5月28日～29日	2名

### (2) 応急下降訓練

毎年、定期点検で営業を休止する期間等を利用して、関係職員にて応急下降訓練（緊急時の救助）を実施しています。

平成 27 年度に実施した応急下降訓練は、次のとおりです。

#### ① 谷川岳ロープウェイ応急下降訓練

6月14日、6月20日、6月28日、7月1日（4日間 延べ34名参加）



② 谷川岳天神リフト応急下降訓練

7月1日、11月30日（2日間 延べ21名参加）



③ 榛名山ロープウェイ応急下降訓練

4月24日、6月23日、9月28日、12月16日（4日間 延べ28名参加）



(3) 安全確保のための諸施策

当社では、安全の維持・向上のため、計画的に機器の整備や工事等を実施しております。

平成27年度に実施した主な整備・工事は、次のとおりです。

① 谷川岳ロープウェイ

1) ロープウェイ1年検査整備点検（6月9日～7月1日）

- ・支曳索交換工事
- ・加減速押送駆動テンションプーリー取付工事
- ・緊張油圧ユニット油圧ポンプ交換

2) 減速押送プーリー軸整備工事（6月～10月）

3) 減速押送モーターオーバーホール1台（9月）

4) 握索機および搬器点検整備 12号車～14号車、貨物車2台(随時)

② 谷川岳リフト

1) 天神峠リフト1年検査および夏季整備（6月8日～6月15日）

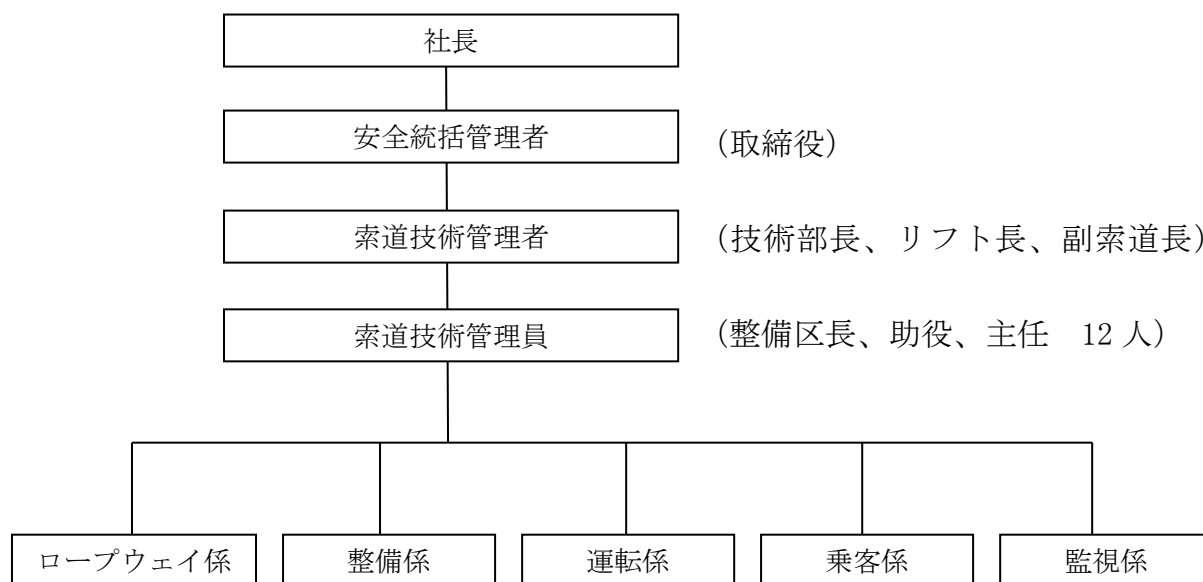
- ・握索機分解整備、各所給油、制動試験
- ・支曳索切詰め工事
- ・山麓ホーム降車階段修繕工事
- ・支柱および運転室他塗装工事

- 2) 平リフトA・B線1年検査および夏季整備（6月～10月）
  - ・握索機分解整備、減速機オイル交換、制動試験
  - ・山頂ホーム補修工事
- 3) 高倉山第1・第2リフト1年検査および夏季整備（6月～10月）
  - ・握索機分解整備、減速機オイル交換、制動試験

③ 榛名山ロープウェイ

- 1) ロープウェイ1年検査整備点検（2月1日～3月4日）
  - ・原動機および減速機オーバーホール工事
  - ・握索機分解整備、索輪交換、制動試験

4 当社の安全管理体制



社長	輸送の安全確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	索道事業の輸送の安全確保に関する業務を統括管理する。
索道技術管理者	安全統括管理者の指揮の下、索道の運行管理、索道施設の保守管理その他技術上の事項に関する業務を統括する。
索道技術管理員	索道技術管理者の下、索道の運行管理、索道施設の保守管理その他技術上の事項に関する業務を管理する。

## 5 ご利用の皆様へ

ロープウェイおよびリフト乗車時の安全確保のため、ご利用の際は、下記の事項をお守りいただきますようお願いいたします。

- (1) 改札および乗車の際は、係員の指示に従ってください。
- (2) 指定の乗車位置でお待ちください。
- (3) 搬器への飛び乗りや飛び降りは大変危険ですのでおやめください。
- (4) 危険物の持ち込みはご遠慮願います。
- (5) ペットは誘導綱（リード）またはケージの中へお入れください。（ただし、不潔または悪臭等のため、他のお客様のご迷惑となるおそれがあるときは、ご利用をお断りする場合がございます。）

## 6 お問い合わせ先

安全報告書へのご感想、当社の安全に対する取組み等へのご意見・ご要望、その他お気づきの点がありましたら、下記にご連絡ください。

皆様からお寄せいただいた貴重なご意見は、より安全で信頼される索道とするために役立たせていただきます。

平成28年5月1日

〒379-1728

群馬県利根郡みなかみ町湯檜曾湯吹山国有林

谷川岳ロープウェイ株式会社

谷川岳ロープウェイ  
(谷川岳事務所)

TEL 0278-72-5840

FAX 0278-72-5834

メール [mail@tanigawadake-rw.com](mailto:mail@tanigawadake-rw.com)

榛名山ロープウェイ

TEL 027-374-9238

FAX 027-374-9278